

新まちづくり計画（H16～18）施策総括調書（単位：千円）

基本目標	5	ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ					
重点戦略課題	2	さっぽろを支え、発信する人づくり					
施策の基本方針	子どもから高齢者まで、市民の誰もがさまざまな学習に取り組みその成果を地域の活動などに発揮できる環境をつくっていくとともに、国際的視野を持ちながら地域への貢献を果たす（仮称）札幌市立大学の設置や高等教育機関との連携強化に向けての取り組みを進め、これからの社会を担う人材を育成します。						
計画事業の実施状況							
施策番号	事業名	計画事業費	実績事業費				進捗率
			16年度（決算）	17年度（決算）	18年度（決算）	合計	
1	新たな生涯学習推進構想の策定	3,000	0	514	1,926	2,440	81.3
1	さっぽろ市民カレッジ	31,000	7,195	7,442	13,267	27,904	90
1	市民との協働による都市計画制度の普及〔再掲〕	24,000	6,452	4,176	2,781	13,409	55.9
1	（仮称）札幌市子どもの読書活動推進計画の策定（終了）	6,000	5,315	0	0	5,315	88.6
1	図書館施設の拡充（終了）	58,000	13,843	44,200	0	58,043	100.1
1	学校開放地域活動モデル事業〔再掲〕	8,000	2,177	2,176	2,176	6,529	81.6
1	学校図書館地域開放事業〔再掲〕	225,000	71,560	72,226	72,502	216,288	96.1
1	資料館の法廷復元と司法教育への活用	75,000	0	2,313	69,069	71,382	95.2
1	「男女共同参画さっぽろプラン」に基づく普及啓発事業	30,000	9,313	9,962	8,130	27,405	91.4
1	アイヌ伝統文化啓発活動推進事業	6,000	2,205	2,205	2,205	6,615	110.3
1	インカルシペ・アイヌ民族文化祭〔再掲〕	4,000	1,350	1,350	1,350	4,050	101.3
2	市立大学設置事業（終了）	4,733,000	571,880	3,911,067	0	4,482,947	94.7
2	大学等高等教育機関と連携した生涯学習の推進		0	0	0		
2	さっぽろ市民カレッジ〔再掲〕	31,000	7,195	7,442	13,267	27,904	90
追加・補強事業の実施状況（参考）							
1	中央図書館運営管理（時間延長）	-			26,394	26,394	-
1	地区図書館運営管理（時間延長）	-			30,539	30,539	-
1	大通コンコース図書貸出返却コーナー運営費	-			7,830	7,830	-
主な施設、サービス等の整備水準							
施策番号	項目	15年度末（現状）	16年度末（実績）	17年度末（実績）	18年度末（実績）	18年度末（目標）	
1	学校図書館開放校	78	81	84	87	87	
1	学校開放地域活動モデル事業実施校	25	30	35	40	40	
1	図書館・図書室・サービスポイント	42	42	42	44	44	
主な取組内容							
16年度（実績）		17年度（実績）		18年度（実績）			
施策1	多様な学習機会の提供とその成果を発揮できる環境づくり						
まちづくりを担う人材を育成するため、NPO、高等教育機関等と連携して市民ニーズに対応した「さっぽろ市民カレッジ」を実施し、高度で多様な学習機会を提供。	新たな生涯学習推進構想策定にあたり、市民及び学習提供者（民間教育事業者、NPO、大学等）へのアンケート実施とともに、社会教育委員等の有識者、公募市民により構成された生涯学習推進検討会議を設置。		新たな生涯学習推進構想については、生涯学習推進検討会議の協議内容を踏まえながら、庁内の生涯学習総合推進本部（幹事会、ワーキンググループ会議）で内容を協議、市民フォーラムの開催、素案の公表、これに対するパブリックコメントを実施し、平成19年3月に策定完了。				
図書館、地区センター図書室等の電算化事業が全て終了し、市内均一の利用サービスを展開できるネットワーク化が完成。	さっぽろ市民カレッジにおける学習成果活用の機会をより充実させるため、希望者のボランティア講師等学習支援者養成プログラム等を実施。		「さっぽろ市民カレッジ」における学習支援者養成の取り組みの強化。				
			より多くの市民に図書館を活用してもらい、またその利便性を高めるため、中央図書館と全ての地区図書館で開館日・開館時間を拡大。				

新まちづくり計画（H16～18）施策総括調書

基本目標	5	ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ	
重点戦略課題	2	さっぽろを支え、発信する人づくり	
主 な 取 組 内 容			
16年度（実績）		17年度（実績）	
<p>都市計画の制度や仕組みが市民に身近なものとなるための入門書（通称まち本）を作成。</p> <p>学校開放地域活動モデル事業実施校及び学校図書館地域開放事業実施校の拡大。</p> <p>男女共同参画の普及啓発活動として、男女共同参画リーダーの養成や講演会、DV（配偶者暴力）防止の普及啓発の取り組みを実施。</p> <p>アイヌ民族の伝統的な生活様式や文化への理解を広めるための展示、実演をはじめ、シンポジウム、音楽祭を開催するとともに、人権啓発パンフレット等を作製、配布。</p>		<p>「まち本」の活用などによる都市計画制度等の普及、地域における先進事例の紹介や次世代育成に向けた事業の実施。</p> <p>平成17年6月に「札幌市子どもの読書活動推進計画」を策定。</p> <p>はちけん地区センターに図書室（蔵書数約15,000冊）を開設。</p> <p>学校開放地域活動モデル事業・学校図書館地域開放事業実施校の拡大。</p> <p>地域で男女共同参画の普及や調査研究を行う「男女共同参画リーダー」の自立に向けた支援の実施、男女共同参画社会実現に向けた課題等をわかりやすく解説したガイドブックの改訂版を作成。</p> <p>アイヌ民族の伝統的な生活様式や文化への理解を広めるための展示、実演をはじめ、シンポジウム、音楽祭を開催するとともに、人権啓発用のポスターや人権啓発ノート等を作製・配布。</p>	
		18年度（実績）	
		<p>「まち本」の活用などによる都市計画制度等の普及、次世代育成本「ミニまち」の作成。</p> <p>学校開放地域活動モデル事業及び学校図書館地域開放事業の実施校の拡大。</p> <p>法及び司法に関する学習事業に活用するため、札幌市資料館に旧札幌控訴院の刑事法廷を復元・整備するとともに司法関係資料の展示等を実施。</p> <p>男女共同参画の推進に係る活動団体及び区との連携により、清田区等を会場に男女共同参画の普及啓発事業を実施。</p> <p>アイヌ民族の伝統的な生活様式や文化への理解を広めるための展示、実演をはじめ、シンポジウム、音楽祭を開催するとともに、人権啓発ノート等を作製・配布。</p>	
<p><b>施策2</b>（仮称）札幌市立大学の設置と高等教育機関との連携強化</p>			
<p>市立大学設置に向けた用地取得、施設実施設計・整備、備品・図書及び情報システム実施計画を策定。</p> <p>大学設置準備委員会の開催。</p>		<p>芸術の森、桑園両キャンパスの校舎増築及び改修工事の実施、必要な備品・図書等の整備。</p> <p>メディア等を活用した大学のPR、学生募集及び入学検定の実施。</p> <p>札幌市内及び近郊の大学・短大に対して実施した公開講座等の実施状況及び協議機関設置の参加可否等に関するアンケート結果を踏まえ、生涯学習推進検討会議において現状と課題について整理。</p>	
<p>新たな生涯学習推進構想の策定において、高等教育機関との連携のあり方、方向性についての整理を行った。</p>			
評 価（ 成 果 ）		課 題	
<p>・今後の本市の生涯学習推進の基本的な考え方と方向性を示す第2次生涯学習推進構想を策定した。</p> <p>・各事業において、地域やボランティア、NPOなどとの連携により、学習機会の充実を図る取り組みが進んでおり、その学習成果の活用の場も徐々に広がってきている。</p> <p>・図書館施設のオンライン・ネットワーク・システムの完成、新たな地区センター図書室の開設、さらに中央図書館及び全地区図書館の開館日・開館時間の拡大により、市民の身近な情報拠点としての図書館サービスの拡充を進めた。</p> <p>・学校開放地域活動モデル事業や学校図書館地域開放事業など、地域住民などとの協働による学校施設を活用した取り組みが着実に拡大している。</p> <p>・男女共同参画やアイヌ民族の伝統文化などについて、市民が理解を深めるための取り組みを着実に展開できた。</p>		<p>・策定した新たな生涯学習推進構想（第2次札幌市生涯学習推進構想）の具体化に向け、関連事業の整理を行い、それらを着実に実施していく必要がある。</p> <p>・地域やボランティア、NPOなどの計画的・継続的な活動確保のための支援のあり方を検討するとともに、学習活動やその成果を実際のまちづくりにつなげるシステムを構築していく必要がある。</p> <p>・男女共同参画活動を地域へ広げる取り組みやDV（配偶者暴力）防止の普及啓発の取り組み、また、アイヌ民族と市民との相互理解を深める取り組みを、さらに進めていく必要がある。</p>	
<p>・札幌市立大学設置事業を予定どおり完了することができた。</p> <p>・新たな生涯学習推進構想の策定の過程において実施したアンケートなどにより、大学等高等教育機関の現状と、連携にあたっての課題について把握することができた。</p>		<p>・札幌市立大学の地域に対する積極的な貢献について、検討していく必要がある。</p> <p>・19年3月に策定を完了した第2次札幌市生涯学習推進構想に基づき、大学等高等教育機関との連携の具体化を図っていく必要がある。</p>	

新まちづくり計画（H16～18）施策総括調書

基本目標	5	ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ
重点戦略課題	2	さっぽろを支え、発信する人づくり

成果指標等の動向

<p>項目1 学習・活動(趣味・スポーツを含む)をしている人の割合(成人)(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H12 (現状値)</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>H18 (目標値)</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合(%)	H12 (現状値)	65	H17	56	H18 (目標値)	75	<p>項目2 学習成果を活用したい人の割合(成人)(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H12 (現状値)</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>H18 (目標値)</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合(%)	H12 (現状値)	58	H17	82	H18 (目標値)	70						
年度	割合(%)																						
H12 (現状値)	65																						
H17	56																						
H18 (目標値)	75																						
年度	割合(%)																						
H12 (現状値)	58																						
H17	82																						
H18 (目標値)	70																						
<p>項目3 学習環境に満足している人の割合(成人)(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H12 (現状値)</td> <td>53.3</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>66.0</td> </tr> <tr> <td>H18 (目標値)</td> <td>65.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合(%)	H12 (現状値)	53.3	H17	66.0	H18 (目標値)	65.0	<p>項目4 さっぽろ市民カレッジ受講者数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受講者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H14 (現状値)</td> <td>2,400</td> </tr> <tr> <td>H15</td> <td>2,378</td> </tr> <tr> <td>H16</td> <td>2,724</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>2,626</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>3,520</td> </tr> <tr> <td>H18 (目標値)</td> <td>3,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	受講者数(人)	H14 (現状値)	2,400	H15	2,378	H16	2,724	H17	2,626	H18	3,520	H18 (目標値)	3,000
年度	割合(%)																						
H12 (現状値)	53.3																						
H17	66.0																						
H18 (目標値)	65.0																						
年度	受講者数(人)																						
H14 (現状値)	2,400																						
H15	2,378																						
H16	2,724																						
H17	2,626																						
H18	3,520																						
H18 (目標値)	3,000																						
<p>項目5 生涯学習を支えるボランティア数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>ボランティア数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H14 (現状値)</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>H15</td> <td>3,990</td> </tr> <tr> <td>H16</td> <td>4,216</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>4,315</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>4,424</td> </tr> <tr> <td>H18 (目標値)</td> <td>4,500</td> </tr> </tbody> </table>	年度	ボランティア数(人)	H14 (現状値)	4,000	H15	3,990	H16	4,216	H17	4,315	H18	4,424	H18 (目標値)	4,500	<p>Blank area for evaluation.</p>								
年度	ボランティア数(人)																						
H14 (現状値)	4,000																						
H15	3,990																						
H16	4,216																						
H17	4,315																						
H18	4,424																						
H18 (目標値)	4,500																						

成果指標から見た重点戦略課題の評価

・設問の形が違うので単純には比較できないが、学習・活動をしている人の割合が低下しており、目標値に達していない。学習・活動をしていない理由として、時間的に余裕がないことを挙げる人が半数以上を占めているが、これらの人達への効果的なアプローチが十分ではなかったと考えられる。

・学習環境に満足している人の割合の増加から、本市において学習機会の充実を図る取り組みが進んでいると評価できる。

・学習成果を活用したい人の割合や生涯学習を支えるボランティア数の増加から、学習の成果を地域の活動などにつなげる環境が整ってきているとともに、学習成果の活用場が広がっていると評価できる。